

企画展のご案内



展覧会名	「清流の国ぎふ」文化祭2024 PARALLEL MODE:オディロン・ルドンー光の夢、影の輝きー
会場	岐阜県美術館 展示室3(岐阜市宇佐 4-1-22)
会期	令和6年9月27日(金)ー令和6年12月8日(日) 午前10時ー午後6時 ※休館日:毎週月曜日(祝・休日の場合は翌平日) ※夜間開館:令和6年10月18日(金)、11月15日(金)は午後8時まで ※展示室の入場は閉館の30分前まで
料金	一般 1,500(1,400)円 大学生 1,200(1,100)円 高校生以下無料()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料 山本芳翠展・オディロン／ルドン展共通券 一般 2,000円 大学生 1,600円 ※共通券は団体割引なし
主催	岐阜県美術館
共催	岐阜新聞社、岐阜放送、中日新聞社
協力	日本航空、日本通運
後援	在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、朝日新聞社、NHK 岐阜放送局、日本経済新聞社岐阜支局
助成	本展覧会は(公財)田口福寿会の助成を受けています

本資料に関するお問い合わせ



〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1313(代表) FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>広報担当:後藤正行
担当学芸員:松岡未紗県美術館
Webサイト

美術館の情報を発信しています



Facebook



Instagram



X

E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

本展覧会について

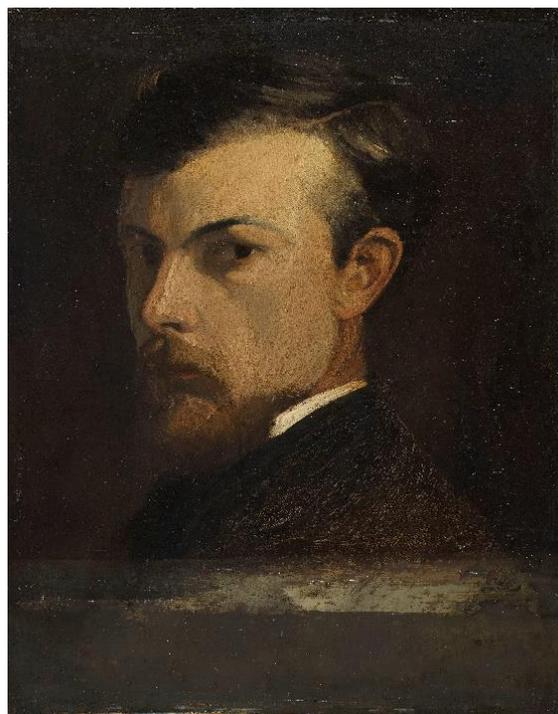
19世紀後半から20世紀初頭にかけてフランスを中心に活動した画家オディロン・ルドン(1840-1916)を紹介する展覧会を開催します。ルドンはジャン＝レオン・ジェロームやロドルフ・ブレスダンに学び、木炭画や版画、パステル画や油彩画と表現媒体を変えながら、イマジネーションの世界を描きました。その夢幻の芸術は、フランスのみならず日本においても美術や文学、音楽、漫画等、幅広い分野に影響を与えています。本展覧会は、万国博覧会の象徴となった技術革新における流動的な社会情勢にあった19世紀後半から20世紀はじめまでの欧州が舞台です。アカデミックな芸術に対して印象派などが台頭する中で、フランスで生まれたルドンが、伝統と革新の狭間で独自の表現を築き上げていく姿を紹介されます。特に技術革新は画材の種類を豊富にし、芸術家に新たな技法や表現への挑戦の機会をもたらしました。ルドン作品における多様な表現の成り立ちを検証し、保存科学や修復時における作品情報の力も借りながら、表現の真実にせまります。また、日本でルドンを紹介する意義として、ルドンと同じ時代を生きた日本の芸術家への影響を紹介しながら、現代の私たちが見ていること、見えているものを解き明かしていきます。約330点の作品により、両国で愛されてきたルドンの作品を読み解きながら、知られざる色彩の秘密へといざないます。



《オリヴィエ・サンセルの屏風》岐阜県美術館

オディロン・ルドン(Odilon Redon,1840-1916)

フランスの画家。ボルドーでスタニスラス・ゴランに学び、ロマン主義の芸術観に触れる。その後植物学者アルマン・クラヴォーとの交流を通して顕微鏡下にごめく生命の神秘や、哲学、文学に興味を持つ。パリでジャン＝レオン・ジェロームに師事し、さらにボルドーでロドルフ・ブレスダンからは版画を学んだ。画業の前半期は木炭画や版画を中心にモノクロームの作品を発表、1890年代以降はパステルや油彩絵具による色彩豊かな作品へと移行。国内外での評価やコレクターの獲得とともに、各国文学者や次世代の芸術家たちに影響を与えた。1916年パリで没。日本でも存命中の明治末頃から紹介され、今日に至るまで、洋画家に限らず日本画家や文学者、音楽家、漫画家まで、様々なジャンルの芸術家たちに刺激を与え、受容されている。



《自画像》オルセー美術館

© RMN-Grand Palais (Musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski/ distributed by AMF

展覧会の見どころ

①近年世界中で開催されたルドン展のとしてトリとして極東地区で行われるアジアオセアニア地域過去最大規模の展覧会

リーマンショック以降、激変する時代が求めた画家として、ルドン評価についての研究が進みました。2010年のフランスでのルドン展以降、スイスのバイエラー財団やヴァンタートゥール美術館、オランダのクレラー＝ミュラー美術館やゴッホ美術館、アメリカのニューオーリンズ美術館等、欧州各国でルドンの芸術が最終的にどこに向かっていったか、その問いに答える展覧会が行われてきました。本展は、こうした世界的なルドンブームの中、アジアオセアニア地区で開催される展覧会として、過去最大規模により岐阜県美術館で開催します。

②石版画集すべてが揃う初の機会

ルドンの全画業を紹介する回顧展として、ルドンが生涯に制作した石版画集をすべて展示します。特に創造の源泉である『起源』が揃いで展示されるのは今回が初めてです。



《起源 1. おぼろげな物質の奥底で生命が目覚めた時》
フランス国立図書館
©Bibliothèque nationale de France

③新旧の画材と技法による表現への挑戦—木炭からパステル・油彩へ

石版画とともに前半期の「ノワール(黒)」の時代の精神を支えてきた木炭画から、1890年代以降、ルドンはパステル画と油彩画制作に挑みます。本展では、ルドンの中にある創造のかたちが異なる描画材料によって具体的に表現されていく姿に迫ります。

④日本人画家が愛したルドン作品

ルドンの芸術は日本でも生前から紹介され、美術のみならず文学や音楽など、幅広い分野に影響を与えています。本展覧会では、土田麦僊や竹内栖鳳ら日本画家や、岡鹿之助、須田国太郎、伊藤清永ら洋画家が手元に置いていたルドン作品に注目します。



《ダフル・プロフィール》岐阜県美術館

⑤新収蔵作品お披露目を含む、岐阜県美術館のルドンコレクションを全て公開する初の機会

岐阜県美術館が所蔵するオディロン・ルドン作品256点が展覧会で一挙公開されるのは今回が初めての機会となります。40年間に収集してきた作品と共に新収蔵作品《窓》をお披露目します。



《窓》岐阜県美術館

⑥ルドン展 × ART MARKET ルドン晩年の大作にアプローチするプロジェクト

ルドン展開催にあわせ、岐阜県美術館のアートプロジェクト「アートまるケット」が世界に飛び出しました。ルドンが晩年に南仏のフォンフロワド修道院図書室のために制作した大作《昼》と《夜》の世界を、アーティストで岐阜県美術館長の日比野克彦が岐阜県美術館につなぎます。会期中にはルドンの絵画世界から日比野克彦が感じたイメージをライブペインティングによって鑑賞者に伝えます。



■ 関連プログラム

■ ルドン×アートまるケット

「日比野克彦ライブペインティング avec VR ルドン／脳はダメせても=身体はダメされない#03」

日 時:2024年9月27日(金)13:00-18:00、28日(土)11:00-18:00

10月6日(日)15:00-18:00、11月3日(日)10:00-12:00

会 場:岐阜県美術館 多目的ホール

出 演:日比野克彦(アーティスト、岐阜県美術館 館長、東京藝術大学 学長)

■ 記念講演会「オディロン・ルドン—メドックの光の中で」

日 時:2024年10月27日(日) 14:00-15:30

会 場:岐阜県美術館 講堂

講 師:高橋 明也 氏(ルドン展監修者、東京都美術館 館長)

■ 記念講演会「ルドンさんに会ってきました」

日 時:2024年11月3日(日) 15:30-16:30

会 場:岐阜県美術館 多目的ホール

担 当:日比野克彦(アーティスト、岐阜県美術館 館長、東京藝術大学 学長)

■ ギャラリートーク

日 時:2024年11月15日(金) 18:00-18:45

会 場:岐阜県美術館 展示室3

担 当:松岡 未紗(岐阜県美術館学芸員)

■ 美術講座「オディロン・ルドンと日本」

日 時:2024年11月17日(日) 14:00-15:00

会 場:岐阜県美術館 講堂

担 当:松岡 未紗(岐阜県美術館学芸員)

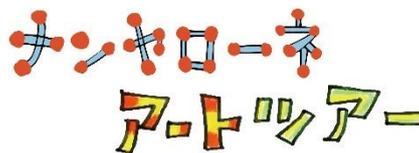
■ ナンヤローネ アートツアー

日 時:2024年11月24日(日)14:00-15:30

会 場:岐阜県美術館 多目的ホール、展示室3

備 考:要事前申込み 要観覧券

詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。



■ 同時開催

◆ PARALLEL MODE:山本芳翠 —多彩なるヴィジュアル・イメージ—

2024年9月27日(金)- 12月8日(日)

◆ アートまるケット 「つなぐ人 日比野克彦」

2024年9月27日(金)- 12月8日(日)



岐阜県美術館 企画展

PARALLEL
MODE

オディロン・ルドン 光の夢、影の輝き

広報画像貸出申込書

FAX 送信番号:058-271-1315

 岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

貴社名		ご担当者名	
媒体名		(掲載コーナー、特集名:)
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送(月号)/発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

 はい 画像データ到着希望日(月日) いいえ(写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

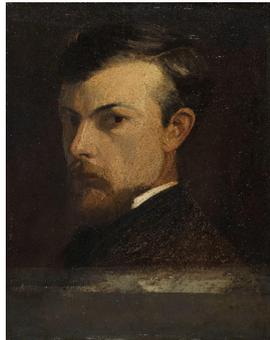
<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	オディロン・ルドン《オリヴィエ・サンセール屏風》1903年 岐阜県美術館
<input type="checkbox"/>	②	オディロン・ルドン《自画像》1867年 オルセー美術館 ©RMN-Grand Palais (Musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF
<input type="checkbox"/>	③	オディロン・ルドン《卵》1885年 フランス国立図書館 ©Bibliothèque nationale de France
<input type="checkbox"/>	④	オディロン・ルドン《眼をとじて》1890年 個人蔵(フジカワ画廊協力)
<input type="checkbox"/>	⑤	オディロン・ルドン《起源 1. おぼろげな物質の奥底で生命が目覚めた時》1883年 フランス国立図書館 ©Bibliothèque nationale de France
<input type="checkbox"/>	⑥	オディロン・ルドン《起源 8.そして人間が現れた。彼が出てきた。彼を引き寄せる大地に訊ねながら、暗い光に向かって道を切り開いていった》1883年 フランス国立図書館 ©Bibliothèque nationale de France
<input type="checkbox"/>	⑦	オディロン・ルドン《絶対の探求…哲学者》1880年 岐阜県美術館
<input type="checkbox"/>	⑧	オディロン・ルドン《若き日の仏陀》1905年 京都国立近代美術館
<input type="checkbox"/>	⑨	オディロン・ルドン《ダブル・プロフィール》制作年不詳 岐阜県美術館
<input type="checkbox"/>	⑩	オディロン・ルドン《窓》1906年頃 岐阜県美術館

■ 広報画像一覧

①



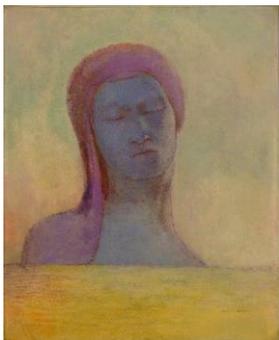
②



③



④



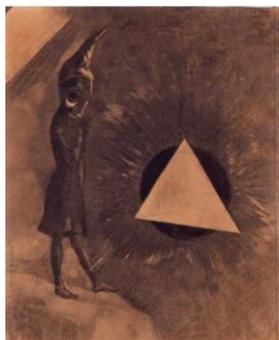
⑤



⑥



⑦



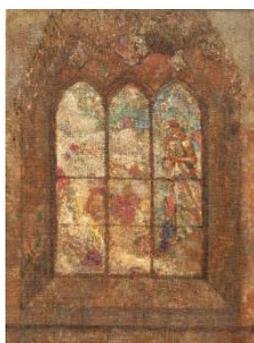
⑧



⑨



⑩



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。